【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成26年12月26日

【四半期会計期間】 第43期第3四半期(自 平成26年8月21日 至 平成26年11月20日)

【会社名】 株式会社サンワドー

【英訳名】 SANWADO corp.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中村 勝弘

【本店の所在の場所】青森県青森市大字石江字三好69番地1【電話番号】017(782)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 兼 経営企画部長 工藤 隆幸

【最寄りの連絡場所】 青森県青森市大字石江字三好69番地1

【電話番号】 017(782)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 兼 経営企画部長 工藤 隆幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第42期 第3四半期連結 累計期間	第43期 第 3 四半期連結 累計期間	第42期	
会計期間		自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日	自 平成26年 2 月21日 至 平成26年11月20日	自 平成25年 2 月21日 至 平成26年 2 月20日	
売上高	(千円)	23,529,581	23,231,126	31,615,734	
経常利益	(千円)	496,790	352,656	701,574	
四半期(当期)純利益	(千円)	277,802	221,099	494,088	
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	408,932	322,989	569,815	
純資産額	(千円)	5,597,038	6,017,557	5,757,921	
総資産額	(千円)	19,007,574	18,485,190	17,899,171	
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	52.62	41.88	93.59	
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	-	-	-	
自己資本比率	(%)	29.4	32.6	32.2	

回次	第42期 第 3 四半期連結 会計期間	第43期 第 3 四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日	自 平成26年8月21日 至 平成26年11月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	20.49	12.32

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 - 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 - 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間(平成26年2月21日~平成26年11月20日)における我が国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進によって円安・株高傾向が続き、輸出企業を中心に緩やかな回復基調で推移しました。その反面、消費税率の引き上げに伴う個人消費の低迷が長引いている事に加え、急激な円安による輸入原材料の上昇やそれに伴う物価の上昇が懸念されるなど、依然として国内経済の下振れリスクが存在し、景気先行きの不透明感は拭えない状況にあります。

このような環境の中、当社グループの営業面では、第1四半期においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要対策として新生活関連商品、季節商品(自転車、園芸用品等)の早期展開、高需要商品の在庫確保、商品の山積展開や組み合せ販売により売上向上に努めました。この結果、家電やブランド品等の高額商品が好調だったほか、生活必需品、消耗品等がまとめ買いにより売上を伸ばしました。第2四半期以降においては、増税後の価格訴求や各メーカーとのタイアップキャンペーンを積極的に行い、売場の活性化を図りました。また、資材館強化策として、地域密着型の商品と定番の見直しを進めてまいりました。さらには、スーパーパイザーを活用し、お客さまに分かりやすく季節に合った売場作りや、お客さまの声を売場へフィードバックする等、更なる利便性向上に努めました。しかしながら、各種施策において一定の効果が見られるものの、増税後の反動減が想定以上に大きく、かつ長引いており、第1四半期では好調に売上を伸ばしていた家電、ブランド品等の高額商品に加え、夏タイヤ、カーナビ等が大きく売上を落としました。また、夏場においては天候不順の影響を受け、冷房用品、塗料、用土、肥料、殺虫剤、レジャー用品等の夏季商品も売上を落としました。第3四半期に入って、降雪や気温低下の遅れから暖房用品、除雪機、除雪用品、スタッドレスタイヤ等の冬季商品が苦戦し売上を落としました。一方で、従前より強化してきた食品部門が好調に推移している中で北海道地区に展開した業務スーパーの認知度が上がり売上を伸ばしたものの、全体の売上をカバーするまでには至りませんでした。経費面においては冷凍・冷蔵施設の増設により水道光熱費、減価償却費が増加したほか、食品部門の人員増加により人件費が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,231百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は292百万円(前年同期比35.4%減)、経常利益は352百万円(前年同期比29.0%減)、四半期純利益は221百万円(前年同期比20.4%減)となり減収減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

「リビング」

「リビング」の売上高は6,169百万円(前年同期比5.8%減)となりました。増税前の駆け込み需要により好調だった冷蔵庫、洗濯機等の白物家電は、増税後もタイアップキャンペーンや価格政策が奏功し売上を伸ばしました。また、増税後もまとめ買いが続いているトイレットペーパー、紙おむつ、消耗品等では、各種キャンペーン施策と同時に品揃えを充実したことと相俟って売上を伸ばしました。一方で、夏場の降雨や低温等により夏季商品が影響を受け、冷房用品、洗濯洗剤、仕上剤、殺虫剤、芳香剤等が売上を落としました。特に、エアコン等の冷房用品が天候不順と残暑需要が生じなかったことにより大きく売上を落としました。冬季商品では降雪や気温低下の遅れが影響し、カーペット、ラグ等の敷物関連商品が不調だったほか、主力商品である暖房用品群の中では、ポイント施策を採った一部の商品は成果がありましたが、床暖房ストーブ、ファンヒーターが振るいませんでした。

この結果、セグメント損失は103百万円(前年同期は54百万円のセグメント損失)となりました。

「食品」

「食品」の売上高は8,263百万円(前年同期比8.5%増)となりました。夏場の天候不順により、缶飲料、ペットボトル飲料、麦茶、素麺等の夏季商品や、これらに関連するギフト商品が売上を落としました。特に缶コーヒーはコンビニエンスストアとの競合から不調でした。一方で、アイスクリーム等の氷菓子類は売場拡大と早期展開により売上を伸ばしました。また、競合の新規出店による競争激化で一部店舗が苦戦しているものの、改装店舗や北海道地区に展開した業務スーパーを中心に、冷凍品、冷蔵品、調味料、菓子類が好調に推移し、米も価格訴求や品揃え強化により売上を伸ばしました。酒類では販売促進を強化した高額プレミアムビールや発泡酒、清酒が堅調でした。

この結果、セグメント利益は100百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は4,686百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

「DIY」は、天候不順の影響が大きく、網戸関連、塗料等が落ち込み、併せて屋外作業用品の販売も伸びず、電動工具、先端パーツなどの作業工具や、住宅の屋根、壁等に使用する建築資材等が売上を落としました。また、雪囲い商品、鋳物ストーブ、薪ストーブ、断熱用品等の冬季商品が売上を落としました。

「グリーン」は、降雨の影響で、長靴、レインウェアが好調に推移しました。りんご、米が豊作だったことにより、りんご資材、収穫用品等が売上を伸ばしました。反面、ホースリール等の散水用品が不調だったほか、増税前の駆け込み需要により売上を伸ばした肥料、培養土は増税後の反動減により落ち込みました。さらに、除雪用品、防寒衣料、防寒長靴等で売上を落としました。また、昨年の少雪の影響で、除雪機は予約段階で前年を下回り、低調なうちにシーズンインしました。

この結果、セグメント利益は159百万円(前年同期比23.1%減)となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は2,834百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

「カー」は、増税後の反動により夏タイヤ、ホイール、カーナビ、オーディオ、レーダー等の高額商品に需要が生じず、売上を落としました。また、降雪の遅れが響き、期初では増税前特需により売上を伸ばしたスタッドレスタイヤが大きく売上を落としたほか、スノーブレード、スノーブラシ、解氷剤等の冬季商品も不振でした。

「レジャー」は、全国的にヒットした話題商品の健康器具が売上を伸ばしたほか、木炭、着火剤等の消耗品で、価格訴求や在庫確保による欠品防止に注力した結果、売上を伸ばしました。しかしながら、昨年は好調だったテント、コンロ、チェア、テーブル等のアウトドア用品が増税の影響により高額商品を中心に売上を落としました。また、増税や為替の影響により値上りした自転車も売上を落としました。

この結果、セグメント利益は19百万円(前年同期比76.6%減)となりました。

「その他」

「その他」の売上高は1,276百万円(前年同期比3.0%増)となりましたが、セグメント利益は8百万円(前年同期比53.8%減)となりました。

(2)財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ586百万円増加し、18,485百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ769百万円増加し、6,132百万円となりました。主に、商品及び製品が季節商品品揃え等により323百万円、現金及び預金が205百万円、及び受取手形及び売掛金が200百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少し、12,352百万円となりました。主に、減価償却等により 有形固定資産が137百万円減少し、投資有価証券が時価評価等により増加しましたが、敷金及び保証金が回収によ り減少したこと等で、投資その他の資産が45百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ326百万円増加し、12,467百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ337百万円増加し、7,105百万円となりました。主に、短期借入金・1年内返済予定の長期借入金及び1年内償還予定の社債が約定返済等により合計で362百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が仕入高増等により683百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、5,361百万円となりました。主に、長期借入金が381百万円増加しましたが、社債が360百万円、固定負債のその他の内リース債務が36百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ259百万円増加し、6,017百万円となりました。利益剰余金が157百万円、その他有価証券評価差額金が101百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は32.6%となりました。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類 発行可能株式総数(株)	
普通株式	16,800,000
計	16,800,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年11月20日)	提出日現在発行数(株) (平成26年12月26日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,280,000	5,280,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	5,280,000	5,280,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】 該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】 該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(-) = > 5 3 7	171-20110-221 32 1 32	E -3 3 12 -				
年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年 8 月21日 ~ 平成26年11月20日	-	5,280,000	-	704,025	-	747,805

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

株式会社 サンワドー(E03238) 四半期報告書

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、 記載することができないことから、直前の基準日(平成26年8月20日)に基づく株主名簿による記載をしてお ります。

【発行済株式】

平成26年11月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,279,300	52,793	-
単元未満株式	普通株式 200	-	-
発行済株式総数	5,280,000	-	-
総株主の議決権	-	52,793	-

- (注) 1.証券保管振替機構名義の株式1,000株(議決権の数10個)は、完全議決権株式(その他)に含めて 記載しております。
 - 2.単元未満株式には、当社名義の自己株式28株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年11月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の 割合(%)
株式会社サンワドー	青森県青森市大 字石江字三好69 番地 1	500	-	500	0.01
計	-	500	-	500	0.01

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

株式会社 サンワドー(E03238) 四半期報告書

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2.監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年8月21日から平成26年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年2月21日から平成26年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

	前連結会計年度 (平成26年 2 月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	415,939	621,629
受取手形及び売掛金	361,969	562,380
有価証券	101,654	101,505
商品及び製品	4,254,935	4,578,100
繰延税金資産	87,258	89,421
その他	141,228	179,414
貸倒引当金	48	74
流動資産合計	5,362,937	6,132,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,164,966	2,052,784
土地	5,488,963	5,492,901
その他(純額)	560,465	531,699
有形固定資産合計	8,214,396	8,077,385
無形固定資産	17,488	16,949
投資その他の資産		
投資有価証券	1,332,046	1,589,212
繰延税金資産	142,802	96,513
敷金及び保証金	2,351,130	2,208,769
その他	486,403	371,771
貸倒引当金	8,033	7,788
投資その他の資産合計	4,304,348	4,258,479
固定資産合計	12,536,233	12,352,813
資産合計	17,899,171	18,485,190
負債の部		,,
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,837,834	3,521,339
短期借入金	600,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	1,870,132	1,767,382
1年内償還予定の社債	470,000	360,000
未払法人税等	98,380	24,558
賞与引当金	42,540	68,500
役員賞与引当金	14,690	12,372
ポイント引当金	91,187	99,779
その他	743,565	801,834
流動負債合計	6,768,330	7,105,766
固定負債		.,,
社債	460,000	100,000
長期借入金	3,823,369	4,204,719
退職給付引当金	283,421	291,680
役員退職慰労引当金	69,080	62,130
資産除去債務	236,843	240,497
その他	500,205	462,839
固定負債合計	5,372,919	5,361,866
與	12,141,249	12,467,633
只俱口可		12,401,033

		(+12:113)
	前連結会計年度 (平成26年 2 月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	4,079,071	4,236,817
自己株式	261	261
株主資本合計	5,530,639	5,688,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,282	329,171
その他の包括利益累計額合計	227,282	329,171
純資産合計	5,757,921	6,017,557
負債純資産合計	17,899,171	18,485,190

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 2 月21日 至 平成26年11月20日)
	23,529,581	23,231,126
売上原価	18,657,650	18,443,704
売上総利益	4,871,930	4,787,422
販売費及び一般管理費	4,419,111	4,495,012
営業利益	452,819	292,409
営業外収益		
受取利息	4,110	9,670
受取配当金	13,223	15,887
不動産賃貸料	27,274	15,473
発注システム使用料	25,326	22,581
その他	36,047	52,356
営業外収益合計	105,983	115,970
営業外費用		
支払利息	52,647	47,415
支払保証料	3,166	1,665
その他	6,197	6,641
営業外費用合計	62,011	55,722
経常利益	496,790	352,656
特別利益		
固定資産売却益	823	16
投資有価証券売却益		33,149
特別利益合計	823	33,166
特別損失		
固定資産売却損	65	18
固定資産除却損	3,599	217
特別損失合計	3,665	236
税金等調整前四半期純利益	493,948	385,586
法人税、住民税及び事業税	212,232	170,291
法人税等調整額	3,914	5,804
法人税等合計	216,146	164,486
少数株主損益調整前四半期純利益	277,802	221,099
四半期純利益	277,802	221,099

【四半期連結包括利益計算書】 【第3四半期連結累計期間】

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月21日 至 平成26年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277,802	221,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,130	101,889
その他の包括利益合計	131,130	101,889
四半期包括利益	408,932	322,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	408,932	322,989
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

EDINET提出書類株式会社サンワドー(E03238)

四半期報告書

【注記事項】

(追加情報)

法人税率の変更による影響

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成27年2月21日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については従来の37.8%から35.4%となります。

この税率変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日) 当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月21日 至 平成26年11月20日)

減価償却費 208,216千円 231,534千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

1.配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月14日 定時株主総会	普通株式	63,353	12	平成25年2月20日	平成25年 5 月15日	利益剰余金

2.基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月21日至平成26年11月20日)

1 . 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月14日 定時株主総会	普通株式	63,353	12	平成26年 2 月20日	平成26年 5 月15日	利益剰余金

2.基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

									1 1137
	 報告セグメント					7.O./II	合計	늘면 하셨었다.	四半期連結
					その他	調整額		損益計算書	
	リビング	食品	DIY&	カー&	計	(注)1		(注)2	計上額
	りしつり	区田	グリーン	レジャー	ΠI				(注)3
売上高									
外部顧客への売上高	6,549,301	7,618,009	5,105,281	3,018,091	22,290,683	1,238,897	23,529,581	-	23,529,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,318	46	1,119	25,810	29,295	10,814	40,109	40,109	-
計	6,551,620	7,618,056	5,106,401	3,043,901	22,319,979	1,249,711	23,569,690	40,109	23,529,581
セグメント利益又は 損失()	54,882	97,610	206,891	81,951	331,571	17,915	349,486	103,332	452,819

- (注) 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益又は損失の調整額103,332千円には、支払利息の調整額52,647千円、支払保証料の調整額3,166千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額42,750千円及び当社グループ間取引に係る調整額4,768千円が含まれております。
 - 3.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年2月21日 至 平成26年11月20日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他	調整額	四半期連結 損益計算書	
	リビング	食品	DIY& グリーン	カー& レジャー	計	(注)1	合計	(注)2	計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	6,169,906	8,263,560	4,686,933	2,834,043	21,954,443	1,276,682	23,231,126	-	23,231,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,374	44	402	20,458	23,279	9,224	32,503	32,503	-
計	6,172,281	8,263,604	4,687,335	2,854,501	21,977,723	1,285,906	23,263,629	32,503	23,231,126
セグメント利益又は 損失()	103,372	100,648	159,077	19,138	175,491	8,277	183,769	108,640	292,409

- (注) 1 . 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売を含んでおります。
 - 2. セグメント利益又は損失の調整額108,640千円には、支払利息の調整額47,415千円、支払保証料の調整額1,665千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額42,750千円及び当社グループ間取引に係る調整額16,808千円が含まれております。
 - 3.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。

株式会社 サンワドー(E03238) 四半期報告書

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 2 月21日 至 平成26年11月20日)
1 株当たり四半期純利益金額	52円62銭	41円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	277,802	221,099
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	277,802	221,099
普通株式の期中平均株式数(株)	5,279,472	5,279,472

⁽注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象) 該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】 該当事項はありません。

株式会社 サンワドー(E03238) 四半期報告書

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年12月24日

株式会社サンワドー

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 久保澤 和彦 印業 務 執 行 社 員

指定有限責任社員 公認会計士 小川 高広 印業務 執行社員 公認会計士 小川 高広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンワドーの平成26年2月21日から平成27年2月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年8月21日から平成26年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年2月21日から平成26年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する 結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠し て四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンワドー及び連結子会社の平成26年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1.上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
 - 2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。